

河本総合防災

99人で「感謝の集い」

北原照久氏の講演も

防災・防犯用品の販売と設備設計・施工、コンサルティング業務などを手がける(株)河本総合防災(相模原市中央区鹿沼台2-1-3、河本俊二社長)は8月7日、ラポー

ル千寿閣(同市上鶴間本町)で「平成22年度感謝の集い」を開催し、社員と協力業者など合わせて99人が参加した。毎年この時期に開いているもので、この日はテレビ番組

「なんでも鑑定団」でもおなじみの北原照久氏(62、(株)トリス代表取締役・横浜プリキのおもちゃ博物館館長)の講演と懇親会の二部構成。飾らぬ人柄をそのまま表すカジュアルな服装の北原氏は「夢は実現する」と題して講演し、数多くの夢を実現してきた自分の半生を語った。

「ドを手に入れる夢を実現したことなどにもふれた北原氏は「強い思いと具体的なイメージを持ち続け、その夢を熱く語りながら明確な目標に向かって突き進めば、夢は叶う」と強調。そして、「私たちはいい時代を生かされている。しかし、戦争で命を落とした人々がいることを忘れるべきではない」と前置きして、第二次大戦末期に鹿児島県知覧から出

撃して太平洋上に散った神風特攻隊員の遺書と突撃の様子を紹介するDVDを上映。会場は肅然とした空気に包まれ、目頭をぬぐう高齢社員の姿も見られた。この後再びマイクを握った北原氏は「感謝、ありがとう、親孝行の心を持って生きれば必ずいい人生が送れると思う」とまとめて大きな拍手を浴びた。

本社長が北原氏への謝辞を述べた後会社の業績に触れ、「前年度は過去最高の売り上げを記録できた。今年は創業50周年を目前にした大事な一年。社員が一丸となってさらに頑張っていきたい」とあいさつ。引き続き座席番号による賞品の抽選が行われ、当選者に拍手が送られるなどアットホームな雰囲気の中で参加者が歓談しながら食事を楽しんだ。



懇親会で握手を交わす北原氏と河本社長(右)

この中で、25歳のときにプリキのおもちゃ集めを始め、37歳のとき念願の博物館を開設したことや、雑誌で見てあこがれ続けた湘南海岸に立つ8億円の邸宅を49歳のとき手に入れた経緯などを説明。さらに、加山雄三と吉永小百合と対面する夢、あこがれの車サンダーバ

2010年(平成22年)8月20日(金曜日)



相模経済新聞社

〒252-0237
相模原市中央区千代田1-6-8
TEL. 042-757-3534
FAX. 042-758-1514
郵便 00210-5-28233